地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、
観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取組んでいます。
今回は、長崎県および一般社団法人 離島振興地方創生協会と連携した「食」を通じた
地方創生の取り組みについてご紹介いたします。

「ながさき食のメッセ」開催！
～しまの産品振興プロジェクト成果報告会及び展示商談会～

長崎県は、豊かな自然と豊富な農水畜産物に恵まれています。しかし、首都圏や近畿圏といった国内の大消費地からの距離がもたらす物流の課題や、人口減少や担い手不足といった生産基盤等の課題を抱えています。日本の中でも数多くの有人離島がある長崎県において、課題が特に顕著な離島に重点をおいた食品産業を中心とした振興を「離島産品振興プロジェクト」と題し、一般社団法人 離島振興地方創生協会（以下、離創協）が２０２０年から開始しました。離創協は、日本を代表する食品業界の製配販企業ＯＢや関係省庁官僚ＯＢなど、多様な業界の有識者や会員企業から成り立ち、「バリューチェーンの構築」「生産基盤の整備」「生活基盤の整備」の3つを重点政策として活動しています。十八親和銀行地域振興部は、当初より離創協や長崎県をはじめとした関係自治体と連携し、行員の派遣を通じて長崎県内の食品事業者との関係構築や展示商談会・フェアの企画立案に努めてきました。

プロジェクトは対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町などから始まり、２０２３年には西海市、２０２４年には島原市へと拡大し、食品産業振興に向けた活動を実施してきました。

十八親和銀行　山川頭取

長崎県　大石知事

具体的な取組みとしては、首都圏、近畿圏や福岡で開催された展示商談会への参加や、「長崎・離島フェア」などを通じた地域産品のＰＲ活動があります。また、地域産品を活用した新商品の開発や生産基盤の整備など、多様な施策が展開されてきました。

この２０２０年から始まった5年にわたる活動の成果発表の場として、２０２５年1月16日に「ながさき食のメッセ」と題し、離島産品振興プロジェクトの成果報告会と長崎県主催による展示商談会が長崎市の出島メッセにて開催されました。成果報告会においては、来場企業や出展企業、行政関係者に向けて、長崎県と離創協が取組んできた離島産品の振興について、長崎県の大石知事による挨拶、十八親和銀行の山川頭取からの応援メッセージ、

離創協の千野理事長より販路拡大支援等の地方創生活動の歩みについて発表がありました。

展示商談会には112社が出展し、全国各地から92社・200名以上の経営陣やバイヤーが来場しました。出展企業からは新たな取引成立見込みについても期待され、「東京や大阪の展示商談会でないと交流できないバイヤーとメールや電話だけでなく直接交流する場が持てて良かった」といった声も寄せられました。

商談会の様子

離創協の発表の様子

十八親和銀行地域振興部は、この成果報告会及び展示商談会においても地元銀行として連携し、出展企業への周知・募集や会場準備など事前準備にも協力、当日も運営スタッフとして参加しました。この連携を通じて、地域流通中心だった現状から新たな販路へのチャレンジ意識が高まり、事業拡大への道筋がつけられました。今後も食産業振興を通じて長崎県の「食」が成長しPRされることを支援し、その持続可能な発展に寄与してまいります。

十八親和銀行 地域振興部 松山
【お問い合わせ】095-828-8150

FFGは地域が抱える課題解決や
地域経済の活性化に取組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア
bank baton

地方創生に関するお悩みをご相談ください

●観光振興　●まちづくり
●産業振興　●エネルギー
●教育文化芸術　●ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254